

# ＜世界で活躍できる演劇人＞を育てる SPAC演劇アカデミー第2期生 募集開始

## 学校の枠を超えた＜仲間＞に出会おう！

### プレス関係各位

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

「世界にはばたけ、teenagers!～SPAC 演劇アカデミー」\*は、＜世界で活躍できる演劇人＞を目指す若者の感性を育むための静岡県が主催する1年制の演劇学校として2021年4月に開設、今年3月には第1期生の高校生15名が全課程を修了いたしました。

アカデミー生は、SPAC 芸術総監督・宮城聰の指揮のもと、一年を通じて、SPACの俳優から直接演技指導を受けるほか、「教養」やミュージカル映画から実践的な「英語」を学び、深い思考力や対話力を磨いてゆきます。また、国内外の第一線で活躍するアーティストをゲストに招き多様な価値観や文化に触れる機会や、一年の最後には、成果発表会を行います。

このたび、2022年6月からの活動開始に向け、第2期生の募集が開始となりましたのでご案内いたします。

\*静岡県が推進する「演劇の都」構想の一環として新設され、その運営は県からの委託を受け、SPACが担うものです。将来的な演劇専門教育への活用も見据え、カリキュラムや指導方法を研究する場としても位置付けられています。



世界にはばたけ、teenagers!

## SPAC 演劇アカデミー 第2期生募集

### 1. 実施概要

応募対象	・2022年度に高等学校に在籍する者 ・原則として全プログラムに参加できる者
募集人数	15名程度
活動期間	2022年6月～2023年3月
活動場所	静岡県舞台芸術公園、静岡芸術劇場 ほか
参加費	無料 ※保険代は主催者負担。交通費、教材費等は生徒負担あり。
校長・講師	校長：宮城聰（SPAC芸術総監督） 講師：SPAC俳優・スタッフ
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技（40回）</li> <li>・ミュージカル映画で学ぶ英語（30回）</li> <li>・「教養の書」を読む（30回）</li> <li>・小論文（30回）</li> <li>・集中講習（小論文、実技）</li> <li>・SPAC作品の観劇 ※観劇代は無料</li> <li>・入校式</li> <li>・成果発表会・修了式</li> </ul>
主催	静岡県 スポーツ・文化観光部
運営	SPAC-静岡県舞台芸術センター



2期生募集チラシ

## 2. 募集要項

募集期間	2022年3月18日(金)～4月30日(土)【必着】
応募方法	下記の書類を作成の上、郵送または持参にて提出してください。 ・受講生応募申込書 ※本人及び保護者の自筆による誓約書を添付 ・作文「SPAC 演劇アカデミー受講を希望する理由と活動意欲」(1200字以内)
選考方法	①書面審査 ②書面審査の通過者を対象に面接を実施[5月14日(土)、15日(日) 会場:静岡芸術劇場]
提出先 お問合せ	〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3-1 SPAC 演劇アカデミー担当 TEL:054-203-5730 FAX:054-203-5732 E-mail:academy@spac.or.jp ※応募書類は郵送または持参にて提出してください。 ※応募書類の封筒に「SPAC 演劇アカデミー申込書在中」と朱書きしてください。 ※静岡県舞台芸術公園、静岡芸術劇場の見学希望も随時受け付けます。

## 3. 募集説明会

日時	4月10日(日)・17日(日) 各日10:30-12:30 オンライン開催
内容	アカデミーの概要説明 質疑応答 ほか
説明会への 参加申込	要予約。 参加希望者は、氏名・学校名・学年・住所・電話番号・メールアドレスを以下のメールにてお知らせください。なお、応募に際し、説明会への参加は必須ではありません。 ▶ SPAC 演劇アカデミー担当 E-mail:academy@spac.or.jp

## SPAC-静岡県舞台芸術センターについて

専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優、舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団。舞台芸術作品の創造・上演とともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を事業目的としています。1997年から初代芸術総監督鈴木忠志のもとで本格的な活動を開始。2007年より宮城聡が芸術総監督に就任し、更に事業を発展させています。教育機関としての公共劇場のあり方を重視し、中高生鑑賞事業公演や人材育成事業、アウトリーチ活動などを続けています。

<https://spac.or.jp/>



## SPAC 芸術総監督 宮城 聡 (みやぎ・さとし)



1959年東京生まれ。東京大学で演劇論を学び、90年ク・ナウカ旗揚げ。国際的な公演活動を展開し、同時代的テキスト解釈とアジア演劇の身体技法や様式性を融合させた演出で国内外から高い評価を得る。2007年4月SPAC芸術総監督に就任。14年アヴィニョン演劇祭から招聘された『マハーバーラタ』の成功を受け、17年『アンティゴネ』を同演劇祭のオープニング作品として法王庁中庭で上演。アジアの演劇がオープニングに選ばれたのは同演劇祭史上初めてのことであり、その作品世界は大きな反響を呼んだ。平成29年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。19年4月フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。